

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	成果目標	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
									開始日	完了日
1	個人情報保護制度の見直しに伴う例規整備支援業務	新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてオンライン化の推進を行うことを目的として、個人情報保護制度に関する例規の整備を行うもの。本整備は、社会全体のデジタル化を図るために、個人情報の取扱いを全国共通ルール化する法改正に準じたものとする。	和木町	条例 2 規則 3 要綱 2 要領 1	令和5年3月末までに関連例規整備の実施率を100%とする。	令和5年3月末までに関連する全ての例規整備が完了し、実施率を100%とした。	2,200,000	2,200,000	R4.5.16	R5.3.31
2	個人情報ファイル簿作成支援業務	新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてオンライン化の推進を行うことを目的として、現在の個人情報取扱事務登録簿のシステム改修を行うもの。これは、社会全体のデジタル化を図るために、個人情報の取扱いを全国共通ルール化する法改正が行われ、地方自治体に個人情報ファイル簿の作成及び公表が義務付けられた事に伴うもの。	和木町	個人情報ファイル 36	オンライン化推進によるデータ利活用に備えるため、個人情報ファイルを30以上作成する。	個人情報ファイルを36作成し、公表した。	2,585,000	2,585,000	R4.5.16	R5.3.31
3	妊産婦応援給付金交付事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策下、妊産婦の健康の保持、胎児の安定した成長及び出生した子を祝福し、健全な育ちを支援する。	令和4年度に町から母子健康手帳の交付を受けた者で、令和3年度和木町妊産婦特別給付金の給付を受けていない者	給付実績 47人 4,700,000円	新型コロナ感染症対策下、妊産婦の健康の保持、胎児の安定した成長及び出生した子を祝福し、健全な育ちを支援する。対象者に対する支援率100%を目標とする。	対象者全員に支給することができ、妊産婦に対し生活支援の一助となった。	4,700,000	4,700,000	R4.4.1	R5.3.31
4	町民体力向上支援事業 (WELLNESS CAMP)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、運動機会が減少している町民の体力向上とストレスの緩和を図る。	町内の子供～高齢者	参加者 小学生 43名 一般 20名(60代以上14名)	参加者の50%以上の体力測定数値を向上させる。	全4回で開催し、1回目の体力測定数値を4回目で上回っていた割合は、88%(小学生75%、一般94%)であった。	1,998,000	1,998,000	R4.6.8	R5.2.17
5	園外保育バス三密対策借り上げ事業	新型コロナウイルス感染防止のため、園外保育バスを各園外保育ごとに1台増便し、感染予防として園児の密集を避け、安全に教育・保育活動を行うための支援をする。	和木こども園	園外活動用借上げバス(増便) 5/24 16,000円×1.1×1台＝17,600円 5/26 16,000円×1.1×1台＝17,600円 6/16 16,000円×1.1×1台＝17,600円 10/24 16,000円×1.1×1台＝17,600円 11/4 43,000円×1.1×1台＝47,300円 11/18 43,000円×1.1×1台＝47,300円	三密対策としてバスを増便することにより、園児の感染者数をゼロに抑える。	バスを増便することで園児のソーシャルディスタンスを確保し、園行事における感染を防止することができた。	165,000	165,000	R4.5.24	R4.11.18
6	校外学習等バス三密対策借り上げ事業(中学校)	新型コロナウイルス感染防止のため、修学旅行のバスを1台借り上げ、感染予防として生徒の密集を避け、安全に学習を行うための支援を行う	和木中学校	修学旅行借上げバス(増便) 9/20 512,182円×1.1×1台＝563,400円	三密対策としてバスを増便することにより、生徒の感染数をゼロに抑える。	増便したことにより座席に余裕があり、生徒の密集を防ぐことが出来た。旅行中や帰省後に発熱した者は出なかったため、感染防止につながった。	563,400	563,400	R4.9.20	R4.9.22
7	校外学習等バス三密対策借り上げ事業(和木小学校修学旅行・社会見学分)	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として密を避けるため、6年修学旅行・5年社会見学を1台ずつ増便するもの	和木小学校	社会見学借上げバス(増便) 6/21 67,000円×1.1×1台＝73,700円 10/6～10/7 修学旅行借上げバス(増便) 226,255円×1.1×1台＝248,880円	三密対策としてバスを増便することにより、児童の感染者数をゼロに抑える。	各行事とも感染症による欠席者はなく、また旅行中や行事後に発熱した者は出なかったため、密防止に大きく寄与し感染防止につながった。	322,580	322,580	R4.10.6	R4.10.7

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	成果目標	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
									開始日	完了日
8	小学校教育振興事業	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、学校が休校となった場合のオンライン学習を可能とするために、学習ソフトを導入する。	和木小学校	学校教育用タブレット学習ソフト1,650円×411本×1.1＝745,965円	全児童411名及び転入者のタブレット端末にドリルを導入することにより三密防止や、学校休業中の学習の継続を行う。	学校が休校になった場合、タブレット端末を持ち帰る際に必要な家庭学習のツールを整備することができた。	745,965	745,965	R4.4.1	R5.3.31
9	中学校教育振興事業	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、学校が休校となった場合のオンライン学習を可能とするために、学習ソフトを導入する。	和木中学校	学校教育用タブレット学習ソフト1,650円×198本×1.1＝359,370円	全生徒198名及び転入者のタブレット端末にドリル等を導入することにより三密防止や、学校休業中の学習の継続を行う。	学校が休校になった場合、タブレット端末を持ち帰る際に必要な家庭学習のツールを整備することができた。	359,370	359,370	R4.4.1	R5.3.31
10	小中学生臨時通学バス運行事業	小中学生が通常とは異なる時刻で登下校する際に、各学校が臨時便バスを手配するが、乗車人数の過剰が見込まれる日については、新型コロナウイルス感染防止策として車内の密集を避けるため、バスを増便するもの。	つつじヶ丘団地及び蜂ヶ峯団地在住の小・中学生	下校時に混雑しソーシャルディスタンスを保つためのバスの増便 6,000円×1.1×10台＝66,000円	つつじヶ丘団地及び蜂ヶ峯団地の児童34名生徒29名を安全に送迎する。	下校時のバスの混雑状況を緩和し、十分なソーシャルディスタンスを確保できたことから、これに起因する感染者数をゼロに抑え、安全に送迎することができた。	66,000	66,000	R4.4.1	R5.3.31
11	飛沫感染防止対策事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、会議中の飛沫感染リスクを低減するため、パーティションを設置する。	和木町	パーティション(L800×H500)6,500円×6個×1.1＝42,900円	パーティションの設置により、当該施設における新規感染者数をゼロに抑える。	パーティションの設置により、会議を通じての感染者数を0人とすることができた。	42,900	42,900	R4.4.26	R4.5.20
12	欠番									
13	議会感染予防対策事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、会議中や来客時の飛沫感染リスクを低減するため、事務局内円卓にパーティションを設置する。	和木町	アクリルパーティション8,000円×2枚×1.1＝17,600円	パーティションの設置により、当該施設における新規感染者数をゼロに抑える。	パーティションの設置により、飛沫感染リスクが低減し、新規感染者の発生はなく、感染防止対策に効果的であった。	17,600	17,600	R4.6.1	R4.6.30
14	都市公園における新たな生活様式を踏まえた遊び提案事業	新型コロナに対応した「新しい生活様式」の定着が求められるなか、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設利用制限以降、伸び悩んでいる町内唯一の観光資源である蜂ヶ峯総合公園の来園者を増やし、指定管理業者等の収益を確保するとともに、公園内の広々としたオープンスペースにおいて、「ニューノーマルパークライフ」を踏まえた身体的距離を保つ遊びを提案すべくアウトドア用品の貸し出しを行うことで、コロナの感染状況が変化する中でも町民等が継続的に安心して公園を利用すること	和木町	デイキャンプ用品、子供向け遊び道具の購入 (ポップアップテント、イス、テーブル、アウトドアバドミントン、バランスボール、バブルボール、オゴディスク等)	年間公園来園者数を16万人以上とする。	イベント開催時等に貸出しを行った。公園来園者数は、127,331人となり、目標の160,000人には届かなかったものの、令和3年度の94,375人からは大きく増加した。	333,874	333,874	R4.11.21	R4.12.28

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	成果目標	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
									開始日	完了日
15	パーテーション購入事業	新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、繁忙期に非常に込み合う蜂ヶ峯総合公園内のインフォメーション窓口、チケット売り場にベルトパーテーションを購入して利用者の動線の確保・誘導を行う。また、公園内で実施する大イベント時の人数制限や混雑時の空間セパレートに利用する。	和木町	ベルトパーテーション 屋内用 4 屋外用 13	公園内でクラスター感染を出さない。	窓口誘導等でベルトパーテーションを利用したことで、公園内でのクラスター発生は確認されなかった。	424,050	424,050	R4.8.8	R4.8.24
16	公園アプローチ広場整備事業	新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、マイカーによる来園者へ向け、公園の駐車場看板や区画線を整備することで、車両の分散を図り、密を防ぎながら公園へ誘導する。	和木町	駐車場看板 1基 区画線 1式	年間公園来園者数を16万人以上とする。	公園来園者数は、127,331人となり、目標の160,000人には届かなかったものの、令和3年度の94,375人からは大きく増加した。	398,200	398,200	R4.7.1	R4.7.19
17	公園観光案内看板作成事業	新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、マイカーによる来園者へ向け、公園の案内看板を整備することで、車両の分散を図り、密を防ぎながら公園へ誘導する。	和木町	案内看板 4基	年間公園来園者数を16万人以上とする。	公園来園者数は、127,331人となり、目標の160,000人には届かなかったものの、令和3年度の94,375人からは大きく増加した。	4,785,000	4,785,000	R5.1.30	R5.3.24
18	公園トイレ改修事業	新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、蜂ヶ峯総合公園内の既存トイレ蛇口を非接触型へ変更し、キャンプ場内のトイレを飛沫拡散防止のため洋式化するなど感染症対策に対応した施設に変更する。	和木町	和便器を洋便器に取替(1ヶ所) 小便器の自動水栓化(1ヶ所) 手洗い水栓の自動水栓化(1ヶ所)	公園内でクラスター感染を出さない。 キャンプ場利用者数をR3年度以上とする。	公園内でのクラスター発生は確認されなかった。 キャンプ場の利用者は、令和3年度3,207人に対し、令和4年度3,103人となり、微減となった。	2,275,460	2,275,460	R4.7.6	R4.9.5
19	除菌ボックス購入	新型コロナウイルス感染症拡大により、利用者の除菌への意識が変化し、貸出した図書を除菌したいという利用者が増加しているため、除菌BOXを増設する。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、接触機会を減少できる図書返却ブックポストを設置する。	和木町立図書館	除菌ボックス 270,000円×1.1×1台＝297,000円 ブックポスト 210,700円×1.1×1台＝231,770円	除菌ボックス及び非接触型の図書返却ブックポストの活用で、図書館における感染者数をゼロに抑える。	除菌ボックス及び非接触型の図書返却ブックポストの活用により、多くの利用者の手に触れる図書の除菌、また対面せずに本の返却が行え接触による感染を防ぐことができ、感染症予防に大きく寄与した。	528,770	528,770	R4.6.24	R4.8.4

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	成果目標	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
									開始日	完了日
20	学校保健特別対策事業費補助金	和木小学校において新型コロナウイルス感染症対策を実施するために必要な物を購入する。	和木小学校	NEWスーパーガードマスク(ふつう) 600円(税込)×14=8,400円 NEWスーパーガードマスク(小さめ) 600円(税込)×18=10,800円 消毒用アルコールタオル(100枚入) 900円×1.1×25個=24,750円 消毒用アルコールタオル詰替え用(100枚入) 800円×1.1×100個=88,000円 セーフタッチニトリルグローブ(粉無)M100枚入 1,600円(税込)×8個=12,800円 セーフタッチニトリルグローブ(粉無)L100枚入 1,600円×5個=8,000円 非接触体温計NC200 21,600円×1.1×1台=23,760円 消毒用Nスター(5L) 7,200円×1.1×15本=118,800円 クリアシートフェイスシールド10組 350円(税込)×5=1,750円 スタンダードスクリーン(ピンク) 15,800円×1.1×5台=86,900円 ポリエチレンLDグローブM500枚 900円(税込)×10箱=9,000円 アコーディオンついたて 80,000円×1.1×3台=264,000円 イータック抗菌化スプレー 1,200円(税込)×43本=51,600円 イータック抗菌化スプレー 19,580円×1.1×17本=332,860円	感染拡大防止のための消耗品費の購入し学校全体での感染者数を10人以内に抑える。	非常に効果があった。授業に起因する感染は0人。 学校全体で感染者数は10人を上回る結果となったが、一定の効果はあった。	1,041,420	521,420	R4.8.2	R4.10.31
21	学校保健特別対策事業費補助金	和木中学校において新型コロナウイルス感染症対策を実施するために必要な物を購入する。	和木中学校	EFハンドタオルソフトタイプ200 6,504円(税込)×6個=39,024円 激吸収キッチンタオル 4,364円(税込)×6個=26,184円 アルボナース(消毒液)業務用4L 6,160円×1.1×20本=135,520円 アルボナース(消毒液)1L 1,790円×1.1×22本=43,318円 ビッと測る体温計(非接触体温計) 11,400円×1.1×20本=250,800円	感染拡大防止のための消耗品費の購入し学校全体での感染者数を10人以内に抑える。	学校全体での同時感染者数を10人以下に抑えることができたので、アルコールによる手指消毒は感染防止につながった。また、非接触体温計により、毎日の検温対策で発熱者を早期に発見することが出来た。	494,846	247,846	R4.8.1	R4.9.20
22	和木小学校遠隔授業用物品購入事業	各学年及び特別支援学級(3クラス)、特別教室(理科室・音楽室)にAppleTVを1台ずつ整備することで、新型コロナウイルス感染症拡大時における遠隔・オンライン授業を実現すると共に、少人数での指導や大型提示装置での映写等を可能とし、密を避けながら教育活動を継続することができる	和木小学校	アップルTV10台 191,400円×1.1=210,540円	AppleTVを10台設置し、非接触型の授業を展開し、授業に起因する感染者を6人以下にする。	非常に効果的であった。授業による感染者を6人以下に抑えることができた。	210,540	210,540	R4.7.20	R4.9.14
23	和木中学校教員用タブレット端末購入事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大時の遠隔・オンライン授業を実現するために、教員ひとりにつき1台のタブレット端末を整備するもの	和木中学校	タブレット15台一式 1,170,000円×1.1=1,287,000円	15台のタブレットを整備することで教員用のタブレットも1人1台となる。これにより、全教員がオンライン研修や会議に年間を通じて1人1回は参加する。また、生徒と同じ環境を構築することで、コロナ禍におけるタブレットを用いた学習支援を年3回以上行う。	教員が1人1台タブレットを利用出来るようになり、1人1回はオンライン研修や会議に参加出来た。また、タブレットを用いた学習支援も行えた。	1,287,000	1,287,000	R4.6.29	R4.11.9

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	成果目標	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
									開始日	完了日
24	和木中学校遠隔授業 用物品購入事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から生徒のソーシャルディスタンスを確保し三密対策を行うため、デジタル教科書等の電子教材を映写するための電子黒板を整備するもの。	和木中学校	電子黒板3台 894,000円×1.1＝983,400円	ICTを活用した非接触型授業を展開することで生徒が密になることを軽減し、授業に起因する新型コロナウイルス感染者数を3人以下にする。	電子黒板を導入したことにより、生徒が密になることを防ぐことが出来た。同時感染者数を3人以下にすることも出来た。	983,400	983,400	R4.6.29	R4.8.22
25	生徒用タブレット端末 追加購入事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大時の遠隔・オンライン授業を用いた家庭学習環境を構築するため、不足しているタブレット端末(新入学生徒5台・転入学生徒2台)を追加購入することで、生徒一人につき1台のタブレット端末を整備するもの	和木中学校	生徒用タブレット5台一式 409,000円×1.1＝449,900円	全生徒分198名及び転入者分の不足する7台のタブレットを追加整備し、コロナ禍における学校休業中に、タブレット端末を用いたオンライン学習を1日1回は実施する。	転入見込みで7台を購入予定であったが、確保できた5台のタブレットを整備し、生徒全員がタブレットを用いたオンライン学習を実施することが出来た。また、朝学習時にも活用することが出来た。	449,900	449,900	R4.9.27	R4.12.2
26	和木こども園教員用 タブレット端末購入事業	タブレット端末の導入により、新型コロナウイルス感染症の影響で在宅勤務等となった場合にも、インターネットからダウンロードした教育デジタルコンテンツの活用や、撮影した写真や動画を編集して使用することが可能となるなど、柔軟で幅広い活用が可能となる。さらに、製作活動の手順や教材の使用用途など、タブレット端末に表示する内容を大画面モニターに映写し、高い指導水準を維持しつつ、園児のソーシャルディスタンスを確保することで、新型コロナウイルス感染症拡大を防止する。	和木こども園	教員用タブレット4台一式 188,000円×1.1＝206,800円	保育教室内で、園児が机についたままで集合することなく説明でき、園児間の距離を2m程度確保する。	感染拡大時期に、タブレット端末を用いた教育・保育により児童同士の適切なディスタンス(2m)を確保することができた。	206,800	206,800	R4.7.22	R4.9.6
27	議会システム整備事業	議場における新型コロナウイルス感染症対策として、出席者分の個別マイクの整備を行う。また、操作に専門的知識や技術を要する既設のアナログ撮影設備を、汎用性の高いデジタル設備に改修することで、議会撮影を現状の外部委託から職員対応に変更し、外部との人的交流の機会を減らすことで感染リスクを軽減する。	和木町	和木町議会中継を、現在のSD(アナログ)画質からHD(ハイビジョン)画質化及び、音声機器の更新	個別マイクの設置及び、外部との人的交流の減少により、コロナ感染者数をゼロに抑える。	県外出張により1名の感染者が発生したが、個別マイクの使用により、機器の共有を回避、また、職員での対応が可能なデジタル撮影設備となり、外部との人的接触が減少したことにより、以降、施設内での感染者は発生しておらず、感染リスク軽減につながったことから、感染症対策として一定の効果があつたと評価する。	11,365,783	10,149,826	R4.7.22	R5.3.31
28	子育て世帯生活支援 特別給付金事業	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、子育て世帯に対する生活支援の一環として令和4年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の対象となっている者に追加で給付措置を実施する	18歳未満(R4.4.1時点)の児童の保護者で、令和4年度非課税の者又はひとり親で児童扶養手当受給者相当の者	支給件数 75件(支給対象児童125人)	対象となる低所得の子育て世帯に対し、100%の給付を目標とする。	対象世帯すべてに給付金を支給することができ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯の生活の一助となった。	6,250,000	6,250,000	R4.6.16	R5.3.31
29	地域応援商品券発行 事業(重点交付金分)	新型コロナウイルス感染症及び物価高騰により大きな影響を受けている住民と事業者への支援及び消費喚起による町内経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を発売する。	令和4年6月末現在、町に住民登録がある世帯	販売件数 4,656人(対象者6,064人) 商品券使用実績 46,272枚	全町民を対象に、販売率70%以上を目標とする。	販売率は76%を超え、町内の飲食店や小売店、サービス業などの消費を喚起し町内経済活性化の一助となった。	17,629,000	17,629,000	R4.6.17	R5.3.17
30	地域応援商品券発行 事業(物価高騰分)	新型コロナウイルス感染症及び物価高騰により大きな影響を受けている住民と事業者への支援及び消費喚起による町内経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を発売する。	令和4年6月末現在、町に住民登録がある世帯	販売件数 4,656人(対象者6,064人) 商品券使用実績 46,272枚	全町民を対象に、販売率70%以上を目標とする。	販売率は76%を超え、町内の飲食店や小売店、サービス業などの消費を喚起し町内経済活性化の一助となった。	9,167,273	7,196,830	R4.6.17	R5.3.17

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	成果目標	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
									開始日	完了日
31	和木町子育て給付金事業	コロナ禍における物価高騰の影響を踏まえ、子育て世帯に対する生活支援の一環として、18歳未満(R4.4.1時点)の児童のいる世帯に給付措置を実施する	18歳未満(R4.4.1時点)の児童の保護者（令和4年11月1日に住民基本台帳に記載のある方。）	支給件数 630件(支給対象児童1181人)	対象となる児童の保護者に対し、100%の給付を目標とする	対象世帯すべてに給付金を支給することができ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯の生活の一助となった。	12,020,170	12,020,170	R4.11.1	R5.1.31
32	高齢者支援商品券給付事業	コロナ禍における物価等の高騰に伴い、高齢者に対し和木町共通商品券を配布して生活支援を行うとともに、商品券の利用により町内経済の活性化を図る。	町内在住の令和4年4月1日時点で73歳以上の高齢者（令和4年11月1日に住民基本台帳に記載のある方。）	支給対象者 1,114人 一人あたり 5,000円の商品券 給付額 5,570,000円	対象となる高齢者に対し、100%の給付を目標とする。	対象者全員に商品券を支給することができ、高齢者に対し生活支援の一助となった。	5,906,099	5,906,099	R4.12.1	R5.3.31
33	高齢者生活支援給付金事業(国のR3予算分)	コロナ禍における物価等の高騰に伴い、高齢者に対し給付金を支給して生活支援を行う。	町内在住の方で令和5年2月1日時点で75歳以上の高齢者	支給対象者 900人 一人あたり 8,000円 給付額 7,200,000円	対象となる高齢者に対し、100%の給付を目標とする。	対象者全員に支給することができ、高齢者に対し生活支援の一助となった。	5,231,000	5,231,000	R5.2.1	R5.3.31
34	高齢者生活支援給付金事業(国のR4予算分)	コロナ禍における物価等の高騰に伴い、高齢者に対し給付金を支給して生活支援を行う。	町内在住の方で令和5年2月1日時点で75歳以上の高齢者	支給対象者 900人 一人あたり 8,000円 給付額 7,200,000円	対象となる高齢者に対し、100%の給付を目標とする。	対象者全員に支給することができ、高齢者に対し生活支援の一助となった。	2,000,000	2,000,000	R5.2.1	R5.3.31
							96,754,400	92,801,000		